

1,321人が筆を振るう

第65回太宰府天満宮七夕揮毫大会で津屋崎中学校が優勝

8月1日から3日まで、第65回七夕揮毫大会が太宰府天満宮で開かれ、幼児から中学生まで1,321人が参加しました。その結果、団体の中学生の部で津屋崎中学校が優勝、小学生の部で津屋崎小学校が3位になりました。また、個人の部では津屋崎中2年生の行武魅咲さんが特選2席、津屋崎小5年生の石津志乃さんが特選1席を受賞しました。

行武さんは「練習不足で不安でしたが、上位に入れてうれしかったです。次は十分に練習して自信を持って臨みたいです」と話していました。



▲団体の中学生の部で優勝した津屋崎中学校の皆さん

これからもお元気で

100歳のお祝いに小山市長が訪問



▲小山市長から渡されたお祝い状を手にする古賀波子さんとご家族

9月15日・16日、小山市長が100歳を迎えたかたがたのお宅を訪問し、お祝いの言葉を贈りました。

古賀波子さん(津丸区)を訪ねた際には「100歳でこれだけスッと立ち上がる人も珍しい」と市長が驚く場面があり、古賀さんは「親が健康体に生んでくれた。丈夫な体をもらって感謝している」と語っていました。今でも趣味の絵を描いたり、掃除や洗濯はできるだけ自分でしたりしているそうです。

内閣総理大臣や県知事からのお祝い状や記念品を贈られると、古賀さんは笑顔を見せていました。

あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。

まちのおだい

〒811-3293(住所不要) ☎0940-43-8113  
福津市役所広報秘書課 広報ふくつ行

「ちゅらさん」などを手掛けた脚本家の岡田恵さんがシナリオを担当  
津屋崎を舞台にしたドラマの撮影がありました

9月中旬から10月上旬にかけて津屋崎千軒などを舞台にしたNHKドラマの撮影が行われました。

10月9日にカメラホールで行われた記者会見には、主演の松田翔太さん、宮本信子さんのほかドラマ制作担当の皆さんが出席し、ドラマの見どころや津屋崎の魅力、撮影の苦労話などを披露。会見の中で松田さんは「じんわり温かい気持ちになってほしい」、宮本さんは「海の風が吹くこの街に皆さん一度来てみてください」と視聴者に向けてメッセージを送りました。

都会の生活に疲れた優柔不断な若者が、津屋崎に住むお茶目でちょっと強引なおばあちゃんとの交流を通じて「小さな幸せ」に気付くまでを描く、心温まるドラマです。NHKドラマ「ここにある幸せ」は、平成27年1月16日(金) 19:30から放送予定です。ぜひご覧ください。

ホームページ上では非掲載としています  
誌面をご覧ください

市民広報  
ボランティア

宮司3区敬老祝賀会



9月28日、宮司コミュニティセンターで宮司3区の敬老祝賀会が行われました。

地元の宮司東子ども会の子もたちが初めて招待され、津屋崎小学校校歌などを合唱したり「翼をください」を5・6年生がリコーダーで演奏したりしました。子どもたちの歌やリコーダーに合わせて一緒に口ずさむ人もいました。演奏後には大きな拍手が送られ、心温まる会になりました。敬老会のかたがたと子どもたちの交流の場が今後も続くといいなと思いました。

【中山和恵】

敬老慰労会



9月21日、台風の接近で風雨が心配されましたが、穏やかな天気の中、敬老慰労会が開催されました。場所はなまずの里。地域のお年寄りを招待し、池のコイやナマズを見ながら藤棚の下でテーブルを囲み、みんなで一緒に食事会です。

お菓子を食べながら久しぶりの顔合わせに、気分も変わって皆さん楽しそうです。ビンゴゲームや懐かしい歌の合唱に、通り掛かった人もほほ笑んでいました。参加した皆さんは早くも次の開催を心待ちにしているようでした。

【福岡一】

見たもの感じたものを描きたい



8月20日から31日まで津屋崎千軒なごみで川上一成さん(津屋崎)の絵画展がありました。

およそ10年前から身近な花を題材にスケッチを始め、その後、自学自習で額絵を描くようになったという川上さん。バラや彼岸花を描いたおよそ20点の作品は「花の一番良い姿を描いてあげたい」と、花びらや葉の一枚一枚が濃淡をつけて丁寧に描かれていました。

「これからも見たもの感じたものを自然体で描き続けたい」と優しいまなざしで語る川上さんです。

【櫻井紀子】

敬老祝賀会



9月15日、花見公民館で敬老祝賀会がありました。朝夕の涼しさに秋の気配を感じる中、無事に開催されました。

冒頭の市長の祝辞も楽しいトークで会場は盛り上がりしました。余興もいろいろ行われ、三味線での合唱や婦人部のコーラス、男性4人組によるカルテットなど楽しい祝賀会でした。最後に抽選会もあり楽しい景品をいっぱいいただきました。執行部の皆さんご苦労さまでした。

【徳永孝志】

秋を身近に

コスモスまつり・稲刈り体験がありました

10月11日に西郷川花園でコスモスまつりと稲刈り体験が行われました。秋晴れの空の下、色鮮やかなコスモスが訪れた人たちの目を楽しませていました。参加者はコスモスを背景に、思い思いの場所で記念撮影をしたり、餅まきや三柱太鼓、クイズラリーなどのイベントに参加したりしていました。

また、水田で開催された稲刈り体験にも多くの人に参加し、6月に自分たちの手で植えた稲を収穫していました。親と子の協働作業も見られ、大変な作業の間にも、たくさんの笑顔であふれていました。



▲目の前をコスモスが埋め尽くします

福津市青年女子バスケットボールチームが全国大会へ

みんなで勝ち取った全国大会初出場



▲福津市青年女子バスケットボールチームの皆さん

9月20日・21日に大牟田市で開催された、福岡県民体育大会(バスケットボール青年女子の部)において、福津市が準優勝しました。決勝戦では、糸島市と接戦の末、63対67で敗れましたが、全国大会への出場権を獲得することができました。

11月7日から11月10日まで東京都で開催される全国大会に、福岡県代表として出場します。

主将の大垣さんは「全国大会では、精一杯チャレンジし、チーム一丸となって、上位進出を目標にがんばりたい」と語っていました。

認知症の人をみんなで支え合おう

認知症啓発事業



▲講演会で認知症の症状を詳しく説明する様子

10月4日、カメラホールで「みんなで考えよう!認知症の人を、地域で支えるまちづくり」が開催されました。この催しは、認知症を正しく理解し、認知症になっても、みんなで支え合い、安心して地域で暮らせるまちづくりについて考えることを目的としています。20歳代から80歳代までの幅広い年代の人たちが参加し、地域医療に携わるこじまクリニックの小島先生から、認知症の早期発見の重要性や、病気への理解の大切さを学んでいました。

集まった善意の気持ちを届けました

福岡シニアライオンズクラブが福岡サンテラスに寄付

9月26日、福岡シニアライオンズクラブの西胤文成会長と稲村正憲幹事が福岡サンテラスを訪れ、クラブ会員からの寄付金を小峯理事長に手渡しました。

障がい者施設への支援を目的とした寄付で、サンテラスへの寄付は今回が2回目。クラブ会員のかたがたはサンテラスで作った商品を積極的に使うことでも施設を支援しています。

小峯さんはお礼の言葉と共に「グループホームの建設に役立てさせていただきます」と語っていました。



▲寄付を手渡す福岡シニアライオンズクラブの西胤会長(左)



▲バンコ市は店の人との会話のやり取りも楽しみの一つです



▲観光馬車とガマの油売り。畦町宿祭りならではの光景です

あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。

まちのおだい

〒811-3293(住所不要) ☎0940-43-8113  
福津市役所広報秘書課 広報ふくつつ

かつての「畦町宿」のにぎわいを取り戻した一日

第2回「唐津街道畦町宿祭り」がありました

10月11日、唐津街道畦町宿保存会の主催による「畦町宿祭り」が開催され、1,000人を超える来場者で賑わいました。

秋晴れの畦町宿には、新鮮な野菜や米、雑貨、陶器、アンティークなどを販売する「バンコ市」の出店が並び、お客さんを乗せた観光馬車がのんびりと巡りました。ステージでは、「ぶんぶん丸」の漫才やひよっこ踊り、吹奏楽演奏などがあって大盛り上がり。街筋を福津民話劇団が練り歩いたりして、訪れた人々を楽しませていました。

また、豚汁800食が無料で振る舞われ、おいしそうに食べるたくさんの家族連れの様子が見られました。

福岡東中学校の生徒およそ40人もボランティアで協力し、保存会が地域の人たちと一緒に開催した祭りは大盛況でした。

市民広報  
ボランティア

あじさいロードで土手の草刈りと肥料やり



10月11日、あじさいロードの草刈りと肥料やりを行いました。あじさいロードは地域婦人会が西郷川の土手の環境改善と美化を目的に、土手にあじさいを植えて「あじさいロード」と命名し、その後も株を増やして今日に至っています。毎年春と秋に草刈りと肥料やり、花後は花殻摘みを行ってあじさいロードを守ってきました。

今回も地域婦人会の呼び掛けでシルバー人材センター、ボランティア、市役所職員など大勢の人が参加し、瞬く間にきれいな土手になりました。【山本武利】

スーパームーン



9月9日、今年最後の「スーパームーン」出現日に、みずがめの郷からの月の出を撮影しました。

普段見慣れているものより大きな月に感動しました。ダム湖の湖面に映る月とのコラボレーションも大変幻想的なものでした。うまく写すことができなかったのが残念です。

【吉村邦夫】

世界遺産候補地を楽しむ

### 「津屋崎おもてなし馬車」で巡る秋の古墳



▲1500年前に作られた円墳のそばを馬車でゆっくりと巡ります  
10月1日、世界遺産候補地である新原・奴山古墳群の周りを馬車で散策するイベントが始まりました。

この日は福岡県が発行している「グラフふくおか」の取材のために宗像を訪れている、作家の安部龍太郎さんが体験乗車されました。馬車の心地よい揺れの中、古墳群と稲刈りが始まった水田のそばを、パッカパッカと心地よく響くひづめの音と観光ボランティアガイドによる古墳の説明を聞きながら巡る、ぜいたくな時間を過ごされました。

市商工会発足以来の快挙

### 「平成26年度青年経営者の主張福岡県大会」で 福津市商工会青年部が最優秀賞を受賞しました

9月に開催された「青年経営者の主張福岡県大会」で最優秀賞を受賞した市商工会青年部の片岡志朗さんが10月1日、小山市長を訪れ、受賞の報告と共に九州大会出場にかける意気込みを語りました。

この大会は、商工会の地域青年部の活動や青年部員としての活動を発表し合うもので、福津市の所属する宗像地区から県大会まで勝ち抜き、九州大会に出場したのは初の快挙です。10月9日に行われた九州大会の結果、惜しくも全国大会出場には至りませんでしたが、片岡さんは堂々としたスピーチを披露して、福岡県代表としての大役を立派に果たされました。



▲市長に受賞報告した片岡さん(右から2番目)と市商工会の皆さん

五穀豊穡や家内安全を祈って

### 市内各地で秋祭りが行われました



▲9月14日に行われた豊山神社の秋祭り。勝浦小学校で児童たちによる太鼓や獅子舞が披露され、その後、松原浜に移動して獅子舞、大名行列の演技などが行われました。夕日が差す海辺を進んでいく行列に見物客は魅せられていました。



▲9月9日に行われた金刀比羅神社の秋祭り。県内で最も早い秋祭りです。神社のある在自治区から津屋崎の町部を巡幸し、獅子舞や大名行列の演技を披露しました。



▲9月21日から23日に行われた宮地嶽神社の秋季大祭。21日の御神幸行列では、民放テレビ局アナウンサーの財津ひろみさんを「祭王」に招き、神社から宮地浜までの道のりを巡幸しました(写真提供:広報ボランティア吉村邦夫さん)。



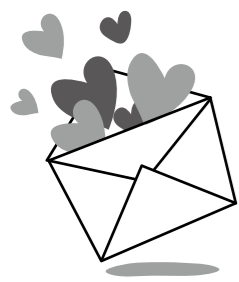
▲9月13日に行われた縫殿神社の秋祭り。色鮮やかなのぼりを持って笛や太鼓の音を響かせながら巡幸しました。道中の奴山川では、みこしを担いだまま川に入り、みそぎを行いました。



▲9月26日・27日に諏訪神社で行われた秋祭り。26日には、神社本殿で神事が行われました。また27日には、境内の土俵で地域の小学生たちが参加した地区対抗の奉納子ども相撲大会が行われました。



▲10月4日に行われた波折神社の秋祭り。一般的には「おくんち」と呼ばれています。御神幸行列が笛や太鼓などを鳴らしながら、にぎやかに市内を回りました。



## おたより寄せちゃってんしゅい

自由投稿コーナー「聞いてちゃってんしゅい!ふくつ便」では、皆さんからの自由な意見・要望・談話などを投稿・紹介しています。福津市をもっと住みよく、もっと楽しくするためには皆さんの声がとても重要です。皆さんのさまざまな話をお聞かせください。お待ちしております。  
※誌面の都合により、掲載できないことがあります。

点線に沿って切り抜き、必要事項を書いて、必ず切手を貼って投稿してください。

POST CARD

8 1 1 3 2 9 3

フリガナ

◎ 氏名

◎ 年齢 歳 ◎ 性別 男・女

◎ ペンネームまたはイニシャル

※記載がない場合は、実名での記載とさせていただきます。

◎ 住所

◎ 電話( ) -

お手数ですが  
52円切手を  
お貼りください

福津市役所広報秘書課  
広報広聴係 行

聞いてちゃってんしゅい  
ふくつ便



問い合わせ  
福津市広報秘書課  
(福間庁舎)  
☎0940・43・8113